

内幸町ホール アワード

第2回

シャンソン・コンクール

2017年8月20日(日)

千代田区立内幸町ホール

13:00開場 13:30開演

入場料 前売 5,000円 / 当日 6,000円(全自由席)

日本で一番数多くシャンソン・コンサートが開催されている千代田区立内幸町ホール。

その内幸町ホールとNPO法人シャンソネットがタッグを組み、日本で唯一のシャンソン専門誌「シャンソンマガジン」の全面的な協力のもとで開催するのがこの「内幸町ホールアワード シャンソン・コンクール」だ。

音楽への探求心と歌うことへの強い意志をもつ個性ある歌い手にとって、より広く知られ、その活動を飛躍させる手がかりになるだろう。

日本のシャンソンの活性化を願い開催されるこのコンクールは、国内の他コンクールやシャンソンの普及活動へのエールを送る試みでもあり、他コンクールの優勝者や入賞者の歌や経験談も審査結果を待つ間に楽しめる。

コンペティションとしての公平を期すために、音源審査では応募者の名前、経歴は一切伏せられたまま行われる。

今年はどうな歌、歌い手が・・・期待は大きい。

審査員



クミコ

1982年、「銀巴里」でプロ活動をスタート。2010年、NHK「紅白歌合戦」初出場。翌年、石巻にて東日本大震災に遭遇し被災。2014年、スコットランド民謡の日本語版「広い河の岸辺〜The Water Is Wide〜」が話題となる。2015年、作曲・プロデュースつくみくみ、作詩・湯川れい子「うまれてきてくれてありがとう」が、レコード大賞作曲賞を受賞。2016年、三木たかし未発表曲「純情」をリリースするなど、常に音楽界の話題をリードしている。



広瀬敏郎

1990年「サンク・オム」でパリ公演・リーヌ・ルノーと共演。NHKホールでの「パリ祭」、草月ホールにて「気ままなコンサート」、2014年パリ・モンマルトル「オ・ラバン・アジル」でコンサート、今年10月に赤坂草月ホールにて『歌手生活45周年記念リサイタル』開催予定。「パリ祭」ではコーラスアレンジ、歌手へのコーラス指導をしている。カルチャーサロン等で講師も勤める。CDアルバム『気ままなコンサートVol.1』他、発売中。



高橋良吉

様々な音楽活動を経た後、カンツォーネを村上進氏に師事。ライブハウス「Unacanzone」の設立、および運営・経営に携わる。イタリア語、ピアノを学びながらライブハウス、ホールでのコンサートに数多く出演。'91年にキングレコードから「フィレンツェの空」をリリース、現在は若手歌手の育成に力を注いでいる。2016年10月、2日間に渡りUnacanzone30周年コンサート(四ツ谷区民ホール)を開催し好評を博す。



奥野秀樹

'72年東京大学在学中に日本シャンソンコンクールで優勝し歌手デビュー。'79年より田辺音楽出版にてレコーディング・プロデューサーとして数々のアーティストを手掛ける。代表作には研ナオコ「夏をあきらめて」、Le Couple「ひだまりの詩」、キンモクセイ「二人のアカボシ」など。2008年よりアーティスト活動を再開し、シンガーソングライター&プロデューサーとしてライブ活動、楽曲制作を続けている。



藤原和久

東京音楽大学ピアノ科在学中よりポピュラー音楽を習得し、演奏活動開始。淡谷のり子、石井好子、芦野宏等の伴奏者として、国内外のステージで活躍。'84年から閉店まで「銀巴里」の専属ピアニストとして美輪明宏をはじめ多数の歌手の伴奏を手掛け、金子由香利の専属としても日本全国でのコンサートに参加。自由が丘にある自らのスタジオ<ラマンダ>では、講師としても活動し、シャンソンの普及に努める。

■主催 千代田区立内幸町ホール／特定非営利活動法人シャンソネット

■制作 特定非営利活動法人シャンソネット、シャンソンマガジン

■音楽制作協力 (有)メロネスト

■後援 一般社団法人日本シャンソン協会／NPO法人関西シャンソン協会／浜松日仏文化協会／特定NPO法人日本シャンソン・カンツォーネ振興協会(JCC)